

地上デジタルTVチューナー 取付説明書

車への取り付けは、必ずこの取付説明書と別冊の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。この場合は、当社では一切の責任を負いかねます。

販売店様へ

接続、取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書はお客様へお渡しください。

※ 別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も併せてご覧ください。

パイオニア株式会社

〒212-0031
神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号

© パイオニア株式会社 2010

< KFWZX > < 10D00001 > < CRA4357-A/S >

仕様

共通部

最大消費電流：2.0A
使用電圧：DC14.4V (10.8V～15.1V使用可能)
質量：900g

外形寸法

地上デジタルTVチューナー：
154 (W) × 29 (H) × 178 (D) mm
地上デジタルTV用フィルムアンテナ：
118 (W) × 102 (H) × 0.4 (D) mm

TVチューナー一部

放送方式：地上デジタル放送方式 (日本)
受信チャンネル：470MHz～770MHz (UHF13ch～62ch)
アンテナ入力：50Ω × 4

付属品

地上デジタルTV用フィルムアンテナ：1式
面ファスナー：2組
電源コード：1
RCA出力ケーブル：1
RCAビデオコード (3m)：1
IP-BUSケーブル (3m)：1
B-CASカード：1
地上デジタルTVチューナー取付説明書：1
保証書：1

商標、著作権など

- SDロゴはSD-3C,LLCの商標です。



- 本製品は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭及びそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFrontBrowserを搭載しています。

- ACCESS、NetFrontは、日本国、米国及びその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。

- ©2010 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.



NetFront Browser

- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

- 本製品には、以下のMozilla Public Licence (以下「MPL」)の適用を受けるソフトウェアが含まれています。

ー以下のオリジナルコードからの派生コード
js-1.5.tar.gz

ー上記オリジナルコードの初期開発者
Netscape Communications Corporation

お客様はMPLの条件に従い上記ソフトウェアのソースコードを入手する権利がございます。MPLの条件および上記ソフトウェアのソースコードの入手方法については、カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

なお、ソースコードの中身についてのご質問にはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

また、上記以外のソフトウェアモジュールについては、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

- Portions of the software in this product are copyright 1996 - 2002

The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved. Licensed under the FreeType Project LICENSE, 2006-Jan-27.(http://www.freetype.org/FTL.TXT)

- その他、製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。

- お客様が録音 (録画) したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 本機は日本国内専用です。

- 本製品の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更する場合があります。また、説明書の内容と実物が異なることがあります。その場合における本製品の改造、またはお取り換えのご要望には応じかねます。

接続・取り付け部品を確認する

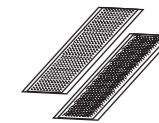
地上デジタルTVチューナー関係



地上デジタルTV
チューナー × 1



B-CASカード × 1



面ファスナー
やわらかい方・かたい方
各2

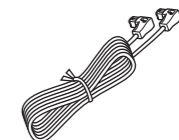
コード関係



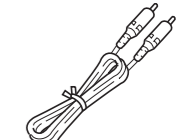
電源コード × 1



RCA出力ケーブル
× 1

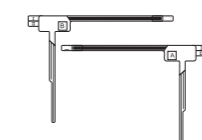


IP-BUSケーブル
(3m) × 1



RCAビデオコード
(黄) (3m) × 1

フィルムアンテナ関係



フィルムアンテナ
① × 2・② × 1



アンテナケーブル
② (5.5m) ④ (5.5m) 各1
③ (4m)



クリーナークロス × 1



クランパー × 9

メモ

- 本製品には、フィルムアンテナは3本同梱されています。残りの1本は、ナビゲーション本体に付属のフィルムアンテナを使用します。☞「電源コード、フィルムアンテナの接続」

接続の前に知ってほしいこと

接続上のご注意

●黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。

●必ず付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障などの恐れがあります。

接続のポイント

ナビゲーション本体との接続について

●ナビゲーション本体との接続方法については、ナビゲーション本体に付属の取付説明書も併せてご覧ください。

IP-BUSケーブルの接続について

●IP-BUSケーブルは、同じ色どうしを接続してください。（コネクタの接続部分が色分けされています。）違う色のコネクタを接続すると、正常に動作しないことがあります。

電源配線キットを別売しています

●システム全体の消費電流が大きくなると、電圧が不足する場合があります。そのようなときは、バッテリーから直接電源をお取りください。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

ノイズ防止のために

●ノイズ防止のため、次のものは本機およびナビゲーション本体や、ハイダウエイユニット、他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。

- *フィルムアンテナおよびそのアンテナコード
 - *FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
 - *GPSアンテナおよびそのアンテナコード
- それぞれのアンテナコードどうしでもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感度が悪くなります。

コネクタの着脱のしかた

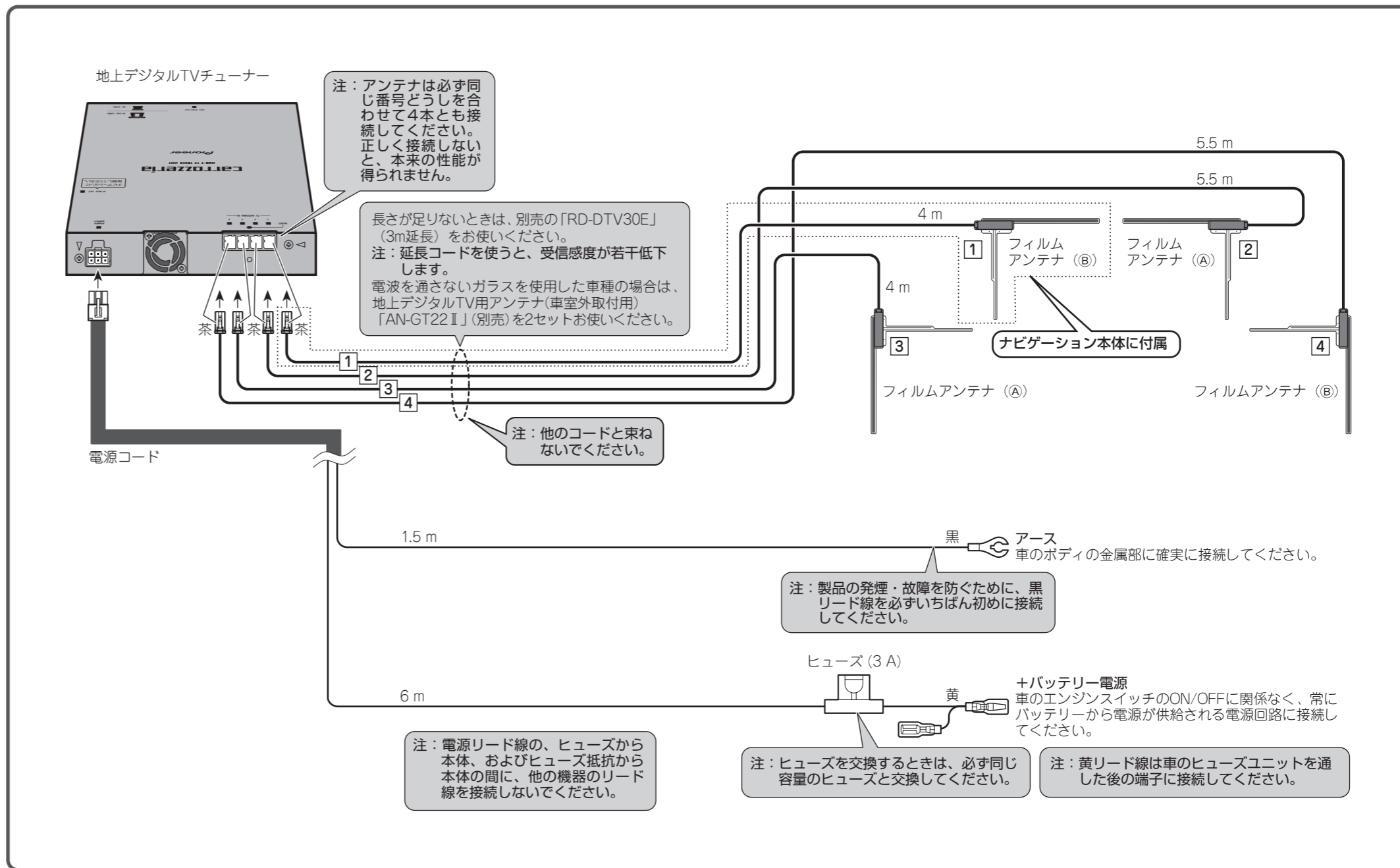
●コネクタは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。スムーズに入らない場合は、色が間違っている可能性がありますので、コネクタどうしの色を確認してください。また、無理に挿入しないでください。故障の原因となる場合があります。

●コネクタを外すときは、図のようにコネクタ部分を持ってロックを押しながら引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



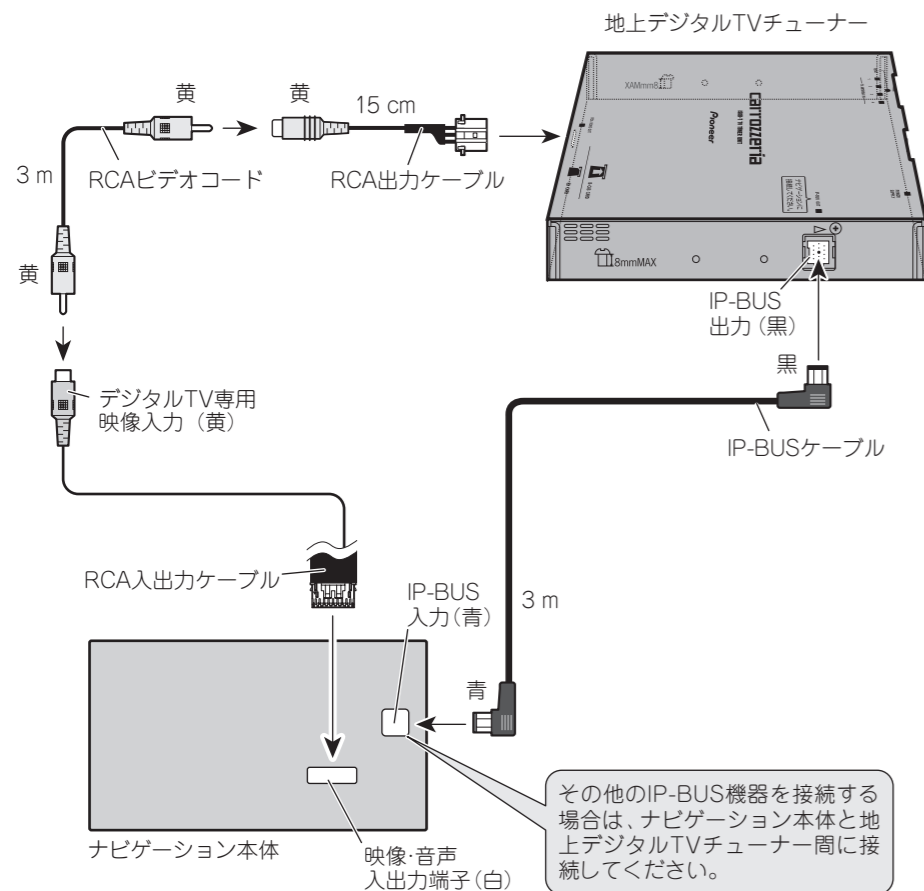
電源コード、フィルムアンテナの接続

——詳しくはご購入の販売店にお問い合わせください——



システムの接続

— 必ず車のバッテリーを外してから接続してください —



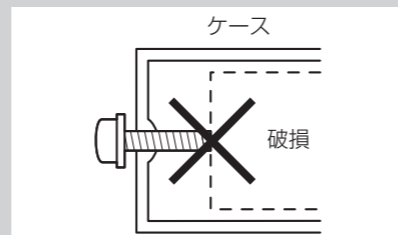
メモ

- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画すると、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、著作権保護の機能により、ビデオデッキを介してモニター出力した場合には、再生目的でも画質が劣化することがあります。これらは機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴するときは、地上デジタルTVチューナーとナビゲーション本体を直接接続してお楽しみください。

取り付けの前に知ってほしいこと

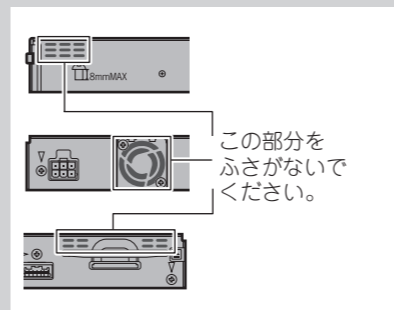
取り付け上のご注意

- 必ず本機に付属の部品を指定どおりに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして危険です。



- 次のような場所には絶対に取り付けしないでください。高温により故障する恐れがあります。
 - * ダッシュボードやリアトレイの上のように直射日光の当たる場所。
 - * ヒーターの吹き出し口の近く。
- ドア近くの雨水がかかりやすい場所には取り付けしないでください。
- フロントシートの下に取り付けるときは、シートのスライドに支障がないように取り付けしてください。

- 平らな面に取り付けてください。平らな面以外に取り付けると、外れたり故障の原因となります。
- しっかりと固定できる場所を選んで取り付けしてください。スペアボードやハッチバックのリアトレイなど、車の振動で動く場所には絶対に取り付けしないでください。
- 指定の取り付け方法以外で取り付けると性能を十分に発揮できません。また、故障の原因となることがあります。
- 放熱や給気を妨げないために、下図の部分をふさがないように配置してください。



取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

- まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認します。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。
- 地上デジタルTVチューナーを取り付ける前に、B-CASカードが抜き差しできることを確認してから取り付けしてください。

面ファスナーを貼り付ける前に

- 面ファスナーを貼り付けるところは、汚れをよく拭きとってください。

ノイズ防止のために

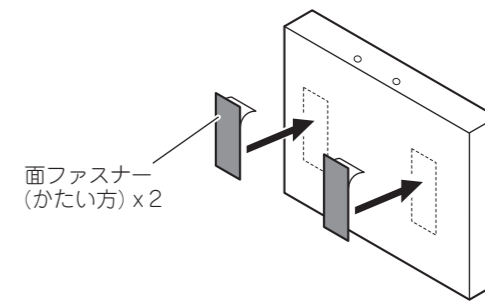
- ノイズ防止のため、次のものは本機およびナビゲーション本体やハイダウェイユニット、他のケーブル類、コード類からできるだけ離して配置してください。
 - * フィルムアンテナおよびそのアンテナコード
 - * FM/AMアンテナおよびそのアンテナコード
 - * GPSアンテナおよびそのアンテナコード
- それぞれのアンテナコードどうしてもできるだけ離してください。一緒に束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。アンテナやアンテナコードにノイズが飛び込むと受信感が悪くなります。

地上デジタルTVチューナーを取り付ける

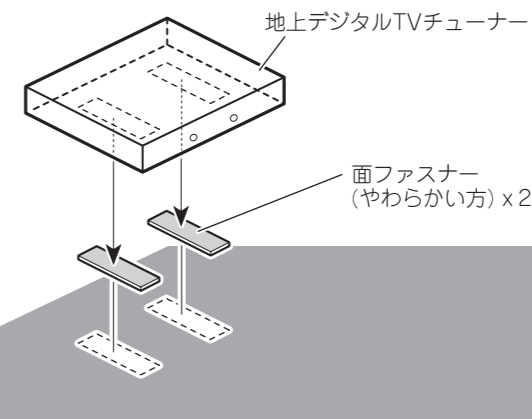
面ファスナーでの取り付けかた

1 面ファスナー (かたい方) を地上デジタルTVチューナーの底面に貼り付ける

面ファスナーを貼り付ける前に、汚れをよく拭きとってください。



2 面ファスナー (やわらかい方) を取り付け場所に貼り付ける



メモ

- 面ファスナー (かたい方) が車のカーペットにくっつく場合は、カーペットに直接取り付けすることもできます。この場合、面ファスナー (やわらかい方) は使用しません。

フィルムアンテナの取り付けの前に知ってほしいこと

取り付け上のご注意

- 保安基準*に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく貼り付けてください。
- *保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第6号に対する、平成15年9月26日付の運輸省（現、国土交通省）令第95号をいいます。
- アンテナは、フロントウィンドウ貼り付け専用です。フロントウィンドウ以外には取り付けしないでください。
- 熱線やプリントアンテナ上には貼り付けしないでください。ショートや発熱、性能劣化の原因になります。
- ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両には、取り付けすることができません。
- 必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。
- 車室内に取り付けるアンテナは、エアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなる場合がありますが、故障ではありません。
- 車種によって、取り付けられない場合があります。販売店にご相談ください。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど、電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店に確認してください。
- 必ず車内の取り付け場所に、市販のテープなどでいったんフィルムアンテナとアンテナケーブルを仮止めして、エレメントとアンプが貼り付けられることを確認してください。

- フィルムアンテナのフィルムやアンプの裏シートをはがした後は、給電端子などに手を触れないでください。静電気による故障や汗や汚れなどで接触不良の原因となります。
- フィルムアンテナは折り曲げないように、取り扱いに注意してください。
- 作業場所は、風が無く、空気中にゴミ、ホコリなどが無い場所を選んでください。
- 気温が低いときやガラスがくもってしまう場合は、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてウィンドウを暖めておいてください。
- 他のアンテナから10cm以上離して取り付けてください。
- 指定の位置や寸法内に取り付けられないことがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- アンテナの余りをまとめる時は十分な曲げ角度（半径15mm以上）を確保してください。

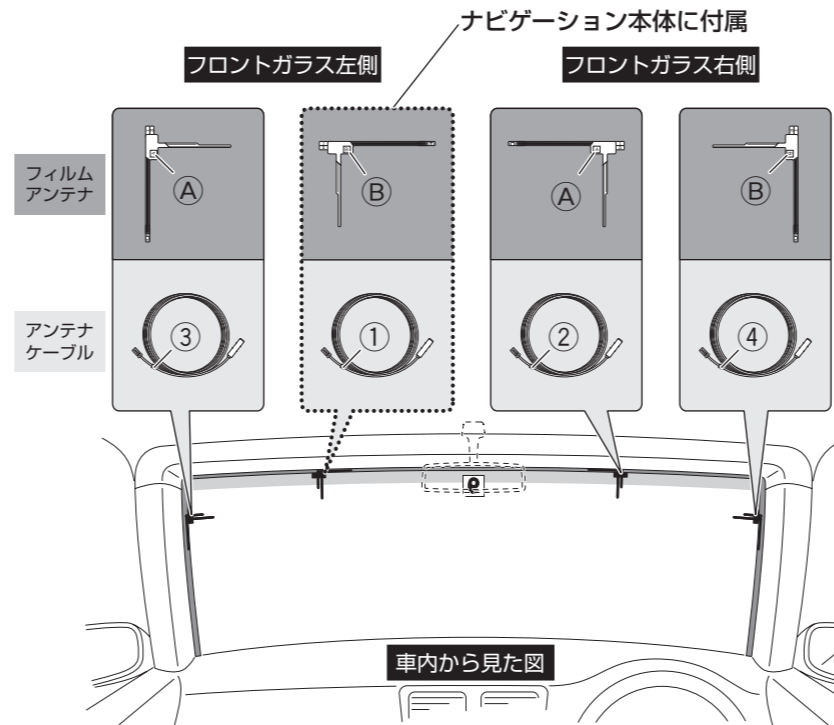
他のフィルムアンテナとの干渉を考慮して貼り付け位置を決めてください。

一度貼り付けると、粘着力が弱くなるため貼り直しできません。必ずアンテナケーブルおよびフィルムアンテナを仮止めし、アンテナケーブルの引き回しなどを十分に検討してから貼り付けてください。

フィルムアンテナの取り付け

取り付け位置について

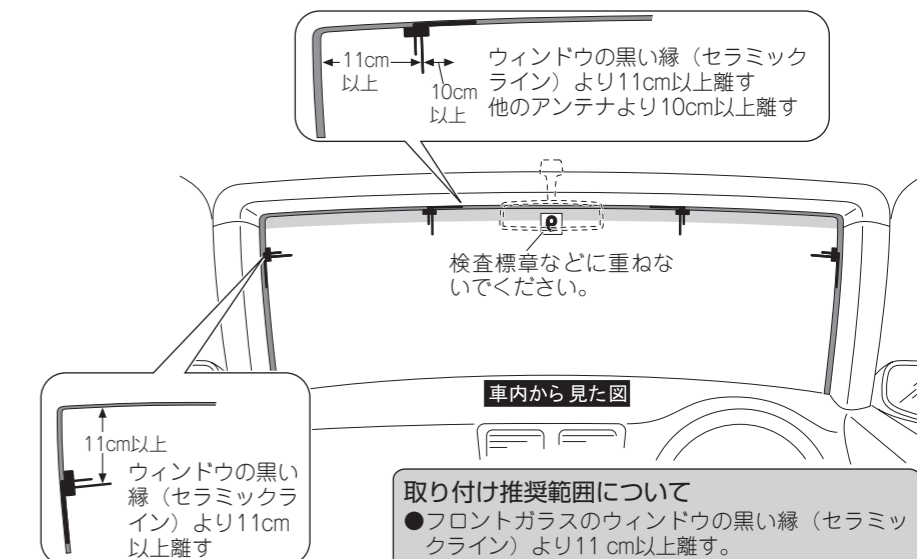
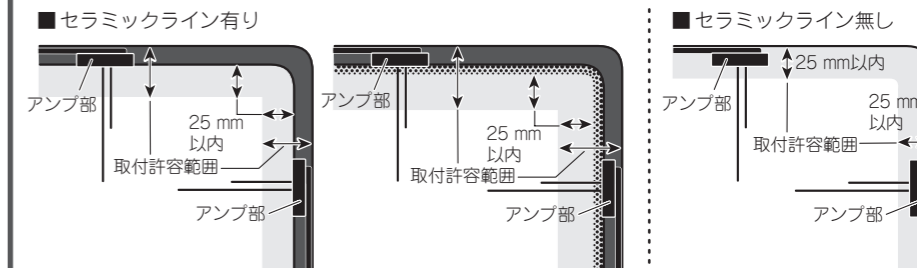
フィルムアンテナは④、⑤の2種類、フィルムアンテナケーブルは①、②、③、④の4種類があり、組み合わせるフィルムアンテナとアンテナケーブルは決められています。それぞれを組み合わせ下記的位置に張り付けてください。



必ずお守りください

運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず「アンプ部の貼付許容範囲」の位置に貼り付けてください。許容範囲外に貼り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となります。

アンプ部の貼付許容範囲



取り付け推奨範囲について

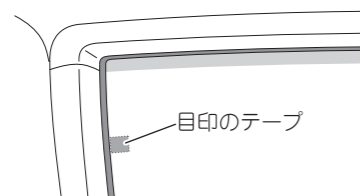
- フロントガラスのウィンドウの黒い縁（セラミックライン）より11 cm以上離す。
- 他のアンテナより10 cm以上離す。
- 同梱のフィルムアンテナ同士は1cm以上離す。

メモ

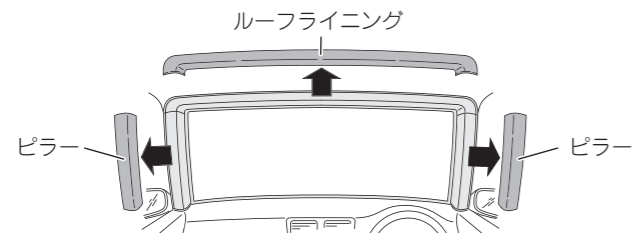
- フィルムアンテナは④用で説明しています。

1 フィルムの仮位置を決める

フィルムアンテナの貼り付けの際、「取り付け位置について」を参照して仮位置を決め、テープなどで目印を付けてください。



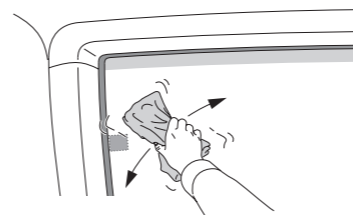
2 車内の内張り（ピラー、ルーフライニングなど）を取り外す



3 ケーブルを引き回す仮位置を決める

4 フロントウィンドウ内側の汚れ、油などを取り除く

フィルムアンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを、付属のクリーナークロスで取り除いてください。

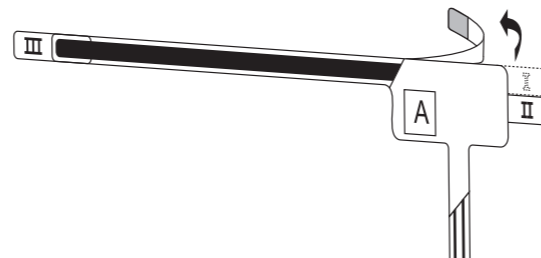


注：クリーナークロスで拭いたあとは、貼り付ける場所およびエレメントには触れないでください。

5 フィルムアンテナを貼り付ける場所を、十分に乾燥させる

6 セパレーターⅠをはがす

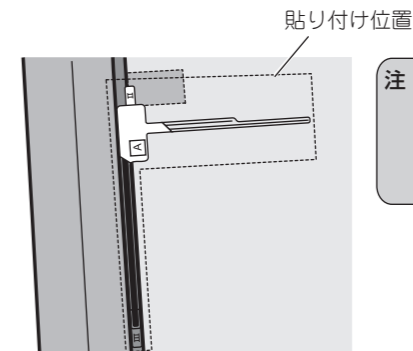
タグを持ってセパレーターⅠをゆっくりはがします。



*セパレーターⅠをはがした後は、粘着面に触れないでください。

7 フィルムをフロントウィンドウに貼り付ける

ガラス面の目印にフィルムを合わせ、フィルムに空気が入ったり、シワが寄らないようにゆっくりと端から貼り付けます。また、一度貼り付けたフィルムをはがしたり位置を変えたりすることはできません。

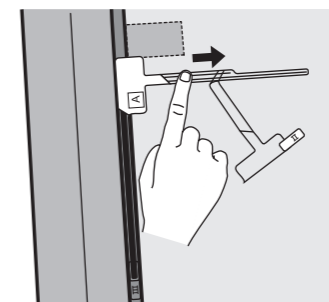


注：十分に汚れ、油膜、水分を拭きとってから貼り付けてください。また、真冬に車内が温かくなると、窓ガラスが結露しますので、十分に乾燥させてからフィルムを貼り付けてください。

*ガラス面が乾いたことを確認してから貼り付けてください。ガラス面が濡れているとフィルムがガラス面に貼り付かない恐れがあります。

8 セパレーターⅡをはがしながらエレメントを貼り付ける

指でエレメントをガラス面に押しつけながらセパレーターⅡをはがしてください。



注：十分に汚れ、油膜、水分を拭きとってから貼り付けてください。また、真冬に車内が温かくなると、窓ガラスが結露しますので、十分に乾燥させてからエレメントを貼り付けてください。

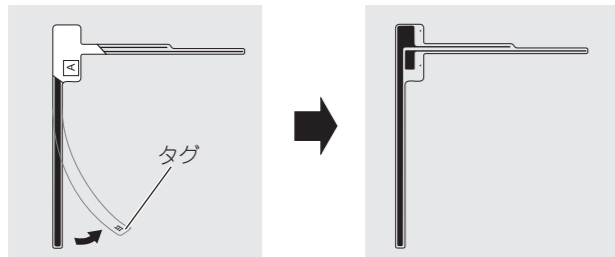
フィルムアンテナの取り付け

つづき

フィルムアンテナを貼り付ける

9 保護フィルムⅢをはがす

エレメントがガラス面に貼り付いていることを確認しながら、タグを持って保護フィルムⅢをゆっくりはがします。



エレメントだけが貼り付く

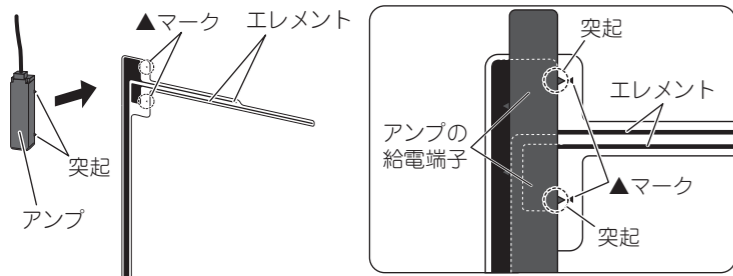
注：保護フィルムⅢをはがした後は、手順11でアンプを貼り付けるまでアンプ貼り付け部に触れないでください。

*エレメントが保護フィルムⅢと一緒にはがれる場合は、保護フィルムⅢを元に戻してガラス面に貼り付くように強く押しつけてください。

10 残りのフィルムアンテナも同様に貼り付ける

11 アンプをエレメントに貼り付ける

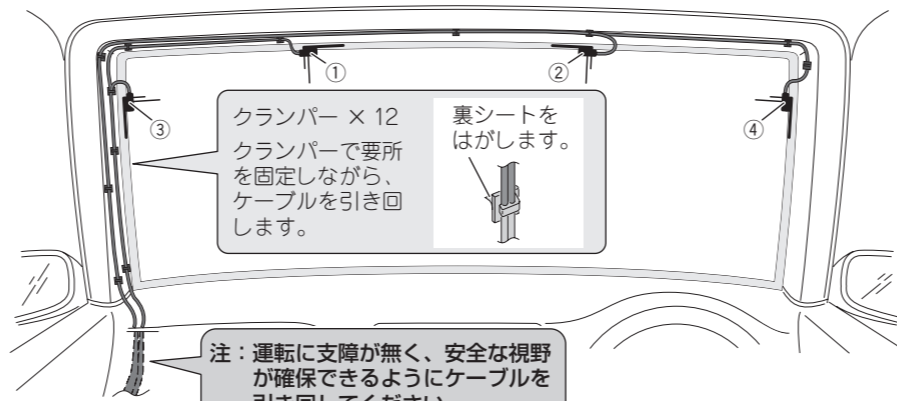
アンプの裏シートをはがして、エレメントの給電端子接触部の▲マークと、アンプの給電端子の突起を合わせるように貼り付けます。組み合わせるフィルムアンテナとアンテナケーブルは決められています。アンテナケーブルにある番号を確認のうえ、手順12に記載しているイラスト通り貼り付けてください。



注：ケーブルを引っ張った状態で貼り付けしないでください。

注：フィルムアンテナの▲マークとアンプ部の突起を合わせないと、受信できません。

12 ケーブルを引き回す



(※「電源コード、フィルムアンテナの接続」)

メモ

- ①と②、③と④を入れ替えて、右から引き回すこともできます。

13 内張りを元に戻す

注：アンプのケーブル根元部に負荷がかからないように注意してください。

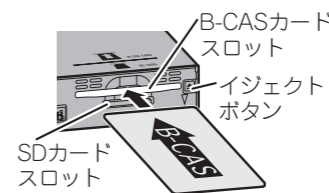
動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

1 接続・取り付けをもう一度確認する

確認
接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見ても確認してください。

2 B-CASカードを“カチッ”と音がするまで挿し込む



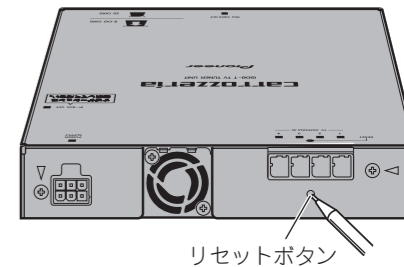
メモ

- 地上デジタル放送では、B-CASカードがないと放送を視聴できません。
- B-CASカードは、地上デジタルTVチューナーに常時装着した状態で使用、保管してください。
- B-CASカードの取り扱いについては、カードが貼ってある台紙をご覧ください。
- SDカードスロットは、バージョンアップ専用です。データの保存などには使用できません。

3 車のエンジンをかける



4 ボールペンの先などでリセットボタンを押す



メモ

- 本機が正しく動作しないときは、リセットボタンを押してください。
- 地上デジタルTVチューナーをリセットすると、地上デジタルTVチューナーに登録されているチャンネルの内容が消去されますので、ご使用前にチャンネルスキャンを行ってください。(※『ナビゲーション&オーディオブック』の地上デジタルTVチューナーの説明をご覧ください。)
- 地上デジタルTVチューナーをリセットしても、機能設定の情報は変更されません。機能設定の情報を消去したいときは、視聴者設定クリアを行ってください。(※『ナビゲーション&オーディオブック』の地上デジタルTVチューナーの説明をご覧ください。)

5 本機の動作を確認する

(※『ナビゲーション&オーディオブック』の地上デジタルTVチューナーの説明をご覧ください。)